

# 技術評価認定書

評価認定対象技術：NT式X型雨水貯留浸透槽

雨水貯留浸透技術評価認定制度実施要領（1996年6月1日施行）に基づき審査した結果、上記技術を総合治水対策及び水循環再生等に寄与する技術と認め、下記のとおり評価認定する。

2022年 4月 1日

公益社団法人雨水貯留浸透技術協会

会  
長

佐藤直良



記

## 1. 評価認定結果

- (1) 雨水の流出抑制施設として必要とされる機能を有すると認められる。
- (2) 実用上十分な強度、耐久性を有すると認められる。
- (3) 常時荷重及びレベル1、レベル2に相当する地震動に対しても十分な強度及び安全性を有していると認められる。
- (4) 施工が容易であると認められる。
- (5) 維持管理が容易であると認められる。

## 2. 評価認定の前提

- (1) 提出された資料には事実に反した記載がないものとする。
- (2) 本認定に使用する材料は、適正な品質管理のもとで製造されたものとする。
- (3) 本認定の施工は、標準施工要領に従い適正な施工管理のもとに行われるものである。

## 3. 評価認定有效期間

自 2022年 4月 1日 至 2027年 3月 31日

## 4. 申請者

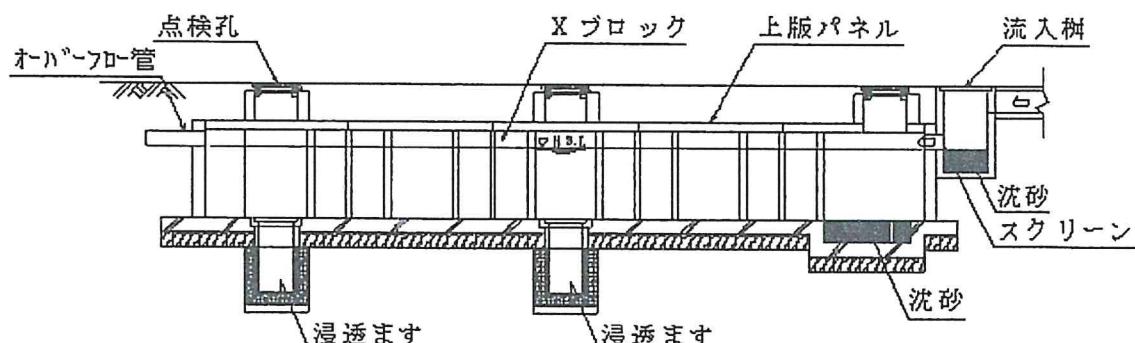
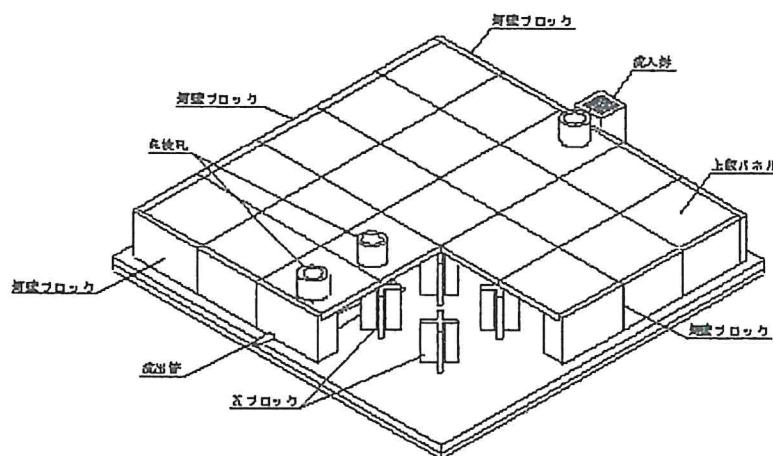
株式会社 日東 埼玉県坂戸市千代田5-7-24

## 1. 評価認定の対象技術

評価申請者 株式会社日東

対象技術 NT式X型雨水貯留浸透槽

技術の概要 NT式X型雨水貯留浸透槽は、プレキャストコンクリート製のXブロック、側壁ブロックを基礎コンクリート上に配置し、上部を上版パネルにより構築する貯留浸透槽である。貯留槽の場合には施設外周部を遮水し、浸透リート上に配置し、上部を上版パネルにより構築する貯留浸透槽である。貯留槽の場合には施設外周部を遮水し、浸透槽の場合は施設底版部に浸透ますを設置する。構造が簡単で経済性、施工性、安全性を追求して開発された雨水貯留浸透槽である。



※ 浸透ますの大きさ・個数は、現地の地質状況等により適宜設計を行う。

## 2. 評価の経緯

雨水貯留浸透技術評価認定制度実施要領（平成8年6月1日施行）に基づき、株式会社 日東が開発したNT式X型雨水貯留浸透槽の技術について評価を行うものである。

## 3. 評価の範囲

評価の範囲は、プレキャストコンクリート製品と連結金具他付属部材を用いて雨水貯留浸透施設を構築する技術とする。

#### 4. 評価内容

評価にあたり、具体的な評価の内容を以下に示す。

##### ①機能性の評価概要

NT式X型雨水貯留浸透槽は、実用上必要な空隙を有しており、雨水流出抑制施設として十分な機能を有している。雨水貯留浸透槽を構成するプレキャスト部材は、形状が単純かつ小型で、ブロック配置の自由度が高いため、多様な敷地形状へも適用可能である。

##### ②強度及び安全性の評価概要

設計条件を十分に満たすように構造設計が行われており、常時荷重およびレベル1地震動、レベル2地震動に対して必要な構造耐力が確保され、強度及び安全性を有していることが確認された。

##### ③耐久性の評価概要

NT式X型雨水貯留浸透槽を形成する主要構造体の原料であるコンクリートと副資材は、土木分野における数多くの実績やJISをはじめとする各種規格・基準によってそれぞれ適切な耐久性を有している。

##### ④施工性の評価概要

NT式X型雨水貯留浸透槽を形成する部材の形状が単純かつ小型で軽量であり、据付作業が容易である。また接合部もボルトによる連結であり、現場での施工性に優れている。

##### ⑤維持管理性の評価概要

NT式X型雨水貯留浸透槽は、流入部に流入柵を設けて堆積した土砂を除去することで、施設全体の機能を長期に渡り維持させることができる。また、施設内にも点検孔下部に泥だれ用ピットを設け、上部から土砂堆積状況の目視管理が可能であり、堆積した土砂の除去も容易である。